

ASUS P6X58D-E ユーザーマニュアル アップデート

このドキュメントは、ご購入されたマザーボードに付属しているユーザーマニュアルの内容に関するアップデート情報です。

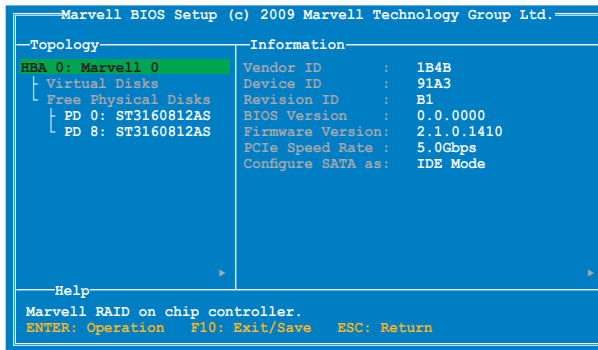
4.4.5 Marvell RAIDユーティリティ

オンボードMarvell 9128 SATA 6Gb/s コントローラーにより、SATA/ハードディスクドライブを2台使用してRAID 0、RAID 1アレイを構築することができます。Marvell 9128 SATA 6Gb/s コネクターの位置はユーザーマニュアルのChapter 2をご参照ください。

Marvell ユーティリティを開くには、POST中に<Ctrl> + <M>を押します。

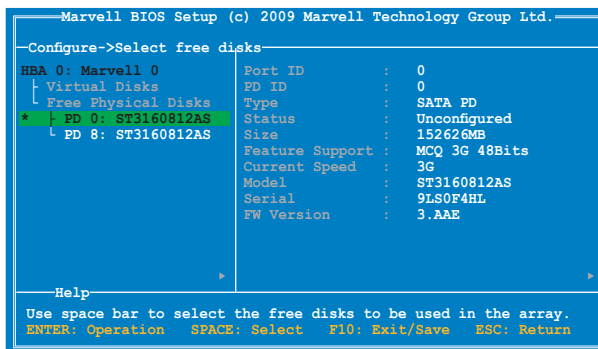


RAIDアレイの構築/削除を行うと、ハードディスクドライブ上のデータは全て削除されます。RAIDアレイの構築/削除の際は、事前にデータのバックアップを行ってください。

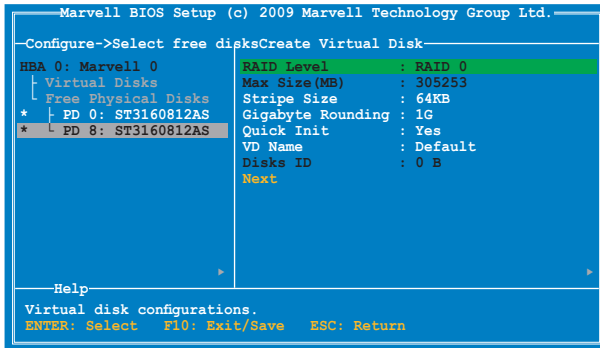


RAIDアレイを構築する

1. 選択バーで「HBA 0: Marvell 0」を選択し<Enter>を押します。
2. 「Configuration Wizard」を選択し<Enter>を押します。



3. <Space> キーでRAIDアレイに組み込むハードディスクドライブを選択します。選択したハードディスクドライブの前には「*」が表示されます。選択したら、<Enter>を押して次の手順に進みます。



4. 上下矢印キーで選択バーを移動し、<Enter> を押してRAIDの各設定を行います。

RAID Level: RAIDのレベルを選択します。設定オプション: [RAID 0] [RAID 1]

Stripe Size: RAID 0 仮想ディスク上のデータブロックのサイズを設定します。通常、オーディオやビデオ、グラフィックス等のサイズの大きいデータの転送を行うアプリケーションには大きめのストライプサイズを設定し、電子メールやドキュメント等の小さめのデータを扱うアプリケーションには小さめのストライプサイズを設定することをお勧めします。

設定オプション: [32K] [64K]

Gigabyte Rounding: RAID 1 仮想ディスク内のディスク 1 台に物理的な不具合が発生した場合、Gigabyte Rounding 機能では、代替となる物理ディスクを既存の物理ディスクよりも僅かに小さいサイズのディスクとして割り当てます。再構築される仮想ディスクの容量は、RAID 1 アレイに組み込まれた物理ディスクのうち容量の小さいディスクの容量と同じになります。設定オプションは、ドライブ容量の差の許容値です。

設定オプション: [None] [1G] [10G]

Quick Init: 仮想ディスクのクイック初期化機能の有効/無効を設定します。

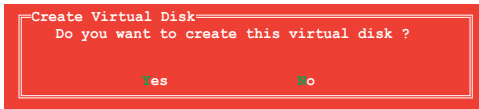
設定オプション: [Yes] [No]

VD Name: RAIDアレイの名前を1-10 文字で入力します (特殊文字は使用できません)。

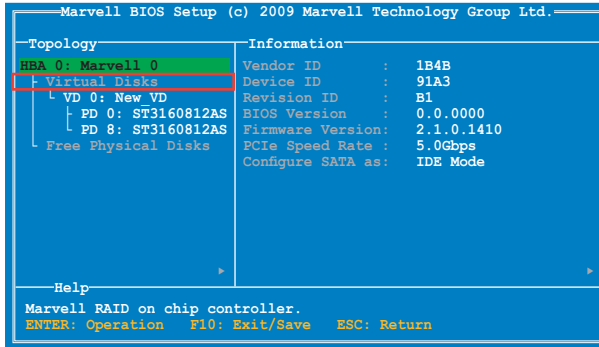




5. 選択バーを「Next」に移動し<Enter>を押します。続いて次のような警告メッセージが表示されます。



RAIDアレイを作成する場合は<Y>を、作成しない場合は<N>を押してください。新しいRAIDアレイは Virtual Disks の下に表示されます (次の図参照)。



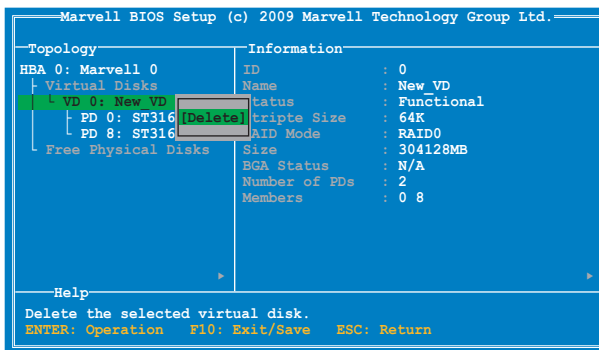
6. <F10>を押します。続いて次のような警告メッセージが表示されます。



<Y>を押してRAID設定を保存し、Marvell RAIDユーティリティを閉じます。

RAIDアレイを削除する

1. 削除するRAIDアレイを選択し、<Enter>を押します。「Delete」を選択し<Enter>を押します。





Yes **No**

Yes **No**

Yes No